

大学院 言語文化論特講 2021

前期・金曜日・6限・総研棟 Rm. 203 予定

担当 佐藤響子

【目的】

コミュニケーションを「会話」という視点から考察します。対面で会話を行う場合、話し手が聞き手の反応を無視して一方的に話し続けることは不可能です。会話は参加者の相互依存的な関係性を基本に成り立っています。このような会話のメカニズムを探究する会話分析をツールとして、日常のコミュニケーション問題を解くこと、すなわち理論と実践の架橋を意図して書かれた高梨克也の本を読み進めます。同時に、関連する学術論文を読みます。会話を含めた（非）言語活動は極めて社会的な営みであり、日常生活に欠かせないものであることはもちろんのこと、調査研究（インタビュー調査、書面調査）においても直接的、間接的にかかわりの深いものです。文献の講読と各自が集めたデータを持ち寄ったデータセッションを繰り返しながら、以下のようなことを目指します。

1. 会話のありようを客観的に見つめる方法を知る
2. 学んだことを、各自の研究、研究遂行に利用する方策を探る

【テキスト】

串田秀也・平本毅・林誠（2017）『会話分析入門』勁草書房

学術論文：社会言語科学、社会学評論から

【授業計画】

- 4月 9日：はじめに（会話分析と談話分析）
- 4月 16日：各自の研究紹介、第1章「会話分析とは何か」
- 4月 23日：第2章「行為の構成と理解」
- 4月 30日：第3章「分析の手順と方法論」
- 5月 7日：第4章「連鎖組織」
- 5月 14日：第5章「順番交替組織」
- 5月 21日：第6章「発話順番の構築」
- 5月 28日：第7章「物語を語る」
- 6月 11日：第8章「修復」
- 6月 18日：第9章「表現の選択」
- 6月 25日：第10章「成員カテゴリー装置」
- 7月 2日：会話分析データセッション
- 7月 9日：会話分析データセッション
- 7月 16日：会話分析データセッション